



AKAGOを使った子育て支援講座 第1回 2017年9月4日13:00～15:00

団体名	NPO法人まるっと丹育	別紙資料を配布し、『AKAGOテキスト版』作成の経緯や、テキストの中で伝えたいことを話す。 主に、旧AKAGO①の部分にかかる内容の説明等だけで、1時間20分。質疑応答や、抱っこについての質問にこたえる形で解説を60分ほどおこなった。 P6～P15までのポイントを開設。P14絵本の読み聞かせ、P30おもちゃについては、デモンストレーションや、おもちゃの例示をした。 P4とP29・30の献立に関連して、離乳食の話題提供とエッセイの背景にある思いを話す。 参加者からでた質問は、絵本の読み聞かせをしなかった親子への関わりをきっかけにして、子どもがすでに成長してしまった後悔ややり残し感への対応、絵本以外で親子が関わりを楽しめるもの(おもちゃなど)と一緒に行動することで気持ちとことばが結びつくことなどを意見交換。ほかに、ハイハイの左右差についてや、向き癖や抱っこをする人のクセなどについても、質問があり、P18・19について解説。補足としてP22・23を参照するように補足。 今年度から委託でひろば事業をはじめたばかり。日の浅いスタッフにとっては、外部講師による初めての研修の機会で、子育て支援者としての知識・知恵の習得の貴重な機会となった。
場所 参加人数	与謝野町 ・11名	
講師	谷口英子・朱まり子	
		

AKAGOを使った子育て支援講座 第2回 2017年9月14日10:00～12:30

団体名	NPO法人ねこぼす	2001年10月に任意団体「子育て支援ねこぼす」を設立され、2014年に京都府NPO法人認可を受け、現在は向日市内およびその近隣で、つどいのひろば「ねこぼす」を開設すると共に、保育や講座の開催など子育て支援を行っている。 今回は、つどいのひろばで、実際に役立つことを学びたいとのご依頼で、お伺いした。資格をお持ちでない方もおられるが、ほぼ10年以上の経験をお持ちになり、スタッフの皆さんが、おんぶについて関心があるとのことで、そこを中心に話を進めさせて頂いた。基本は、実際に対応するためにとのことで、絵本・おもちゃなどの使い方もお話をし、多様な内容の講座となった。 終了後の感想として、 「自分は、10年以上保育に関わってきたは、幼稚園など3歳以上の子どものことばかりだったので、小さい子になれていなくて、おんぶなどはしなかった。だが今回のことで、考え方を改めて、だっこ・おんぶを実践していきたい。」 「今日体験したことで、妹をおんぶしていたことが、身体によみがえって、これからは自分も抱っこをしたいと思った。」 等の感想を頂くことが出来た。
場所 参加人数	向日市 ・ 8名	
講師	迫きよみ 朱まり子	
		

AKAGOを使った子育て支援講座 第3回 2017年9月20日14:30～16:30

団体名	NPO法人まちづくりサポートクラブ	NPO法人まちづくりサポートクラブは、舞鶴市西市民プラザを拠点に、拠点となる施設の管理運営、子育て支援、高齢者介護予防などの事業を展開し、まちのにぎわいづくりに取り組んでいる団体で、子育て支援の場としては、「子育てひろばひまわり」の運営に取り組んでいる団体である。 当団体が舞鶴で開催している講習などに大勢のスタッフが参加されるなど、常に学びの姿勢が強く、支援者としての強い意識をお持ちの方が多く感じている。今回は、みんなでしっかり確認できる場として、この講座の依頼を受け、実施することになった。 このような団体のスタッフに向けた研修なので、こちらから押し付けることはせずに、それぞれの「AKAGOテキスト版」の読後感、読んで感じた疑問・仮題などを丁寧に出して頂くことから始めた。 テキストについては、「書き込みワークをすることで気持ちの整理ができる」「赤ちゃんも一人の人間として、ちゃんと育て行って、ちゃんと人間になっていく。このことをきちんと伝えていきたい。」「頭で考えるのではなく、今、目の前にいる赤ちゃんのことを大事に考えたい」などの感想を頂き、その後、疑問に一つ一つ答える形で、講座を進めました。
場所 参加人数	舞鶴市 ・8名	
講師	迫きよみ 朱まり子	



AKAGOを使った子育て支援講座 第4回 2017年9月27日10:00～13:00

団体名	NPO法人グローアップ	NPO法人グローアップは、南丹市八木を中心に、日吉、美山などに拠点をもち、つどいのひろばだけでなく、小学生の対応もされているNPOである。 地域に住む母親が立ち上げたということで、地域のママがスタッフとして関わっておられ、支援者と言う側面もありながら、地域に住む人という、普通のお母さんの色合いを大事にされている。 そのため、ややもすると、子育て支援のなかで、親対応が中心になりがちで、今回は時間を1時間程延長し、丁寧な講座を開催させて頂くことにした。 講座は3部に分け、第1部では、AKAGOテキスト版の活用方法、第2部では実践講座(主に、母親に伝わるような言葉掛けを実践を通し学んだ)、第3部では、日頃から疑問に感じておられることを質問して頂き、それに答えるという形で進めさせて頂いた。 終了時の参加者の言葉としては、「利用者はお母さんと子どもと思いつつも、なかなか、子どもの側に立って、一緒にどうしたらよいかを考える事が少なかった。利用者がまだ喋れない子どもなら、きちんとそれに対応することが大事だと、改めて感じた」との感想を頂いた。
場所 参加人数	南丹市 ・8名	
講師	迫きよみ 朱まり子	



AKAGOを使った子育て支援講座 第5回 2017年10月5日13:00～15:00

団体名	NPO法人いんふぁんとるーむ	団体からの希望として、「だっこ・おんぶ」の実習をして欲しいとの依頼があったので、短時間の講座では厳しいだろうということで、講師のほか、会員も同伴し、合計4名で講座を行った。 最初に団体との関わり・職歴をお話頂く自己紹介をして頂いたところ、殆んどの方が保育士資格を持ち、在職年数は10年を超える方が殆んどであり、全員が母親でもあったので、子ども理解などの部分は省略して、後半にゆとりを持たせる構成とした。 知識の整理を主に、前半40分、自分がどのような視点で、親に接することが大事なのか、そこを中心にお話しました。自分の経験だけにたよるのではなく、知識に裏打ちされていることが大事だと、お伝えした。 残る1時間5分は、実際に赤ちゃんの等身大人形を持参し、それを使用しての実践講座とした。実践量も、知識もある支援者にとっても、十分な講義内容となり、小規模保育園勤務の方も、「日々、赤ちゃんと接する時に非常に役立つ内容をお聞きし、今日の学びは直ぐに活かせるもので、とても良かった。」との、振り返りの言葉を頂いた。
場所 参加人数	つどいの広場・小規模保育園長岡京市 向日市・ 11名	
講師	迫きよみ 朱まり子	



AKAGOを使った子育て支援講座 第6回 2017年10月11日13:30～15:30

団体名	つどいのひろば「いっぽ」	京都市桂にある、つどいの広場「いっぽ」は、子育てをしている保護者(パパやママ、おじいちゃんおばあちゃん)とその子どもたち(主に0から3才の乳幼児)のための広場で、小学校の空き教室にあるという環境からか、地域密着型の子育て支援を展開しておられ、リピーターも多い子育て支援拠点である。 今回は、同じ法人の代表者、伏見区の支援拠点の方なども参加され、ちょっと多いかなと思う程の参加者であったので、3名の講師で対応をした。 趣旨説明のあと、各自の読後感を伺うと、現場ならではの多様な質問・疑問・感想を頂いたので、その一つ一つに答えていくということで、講座を進行させて頂いた。具体的な内容としては、赤ちゃんの据わっていない首を気遣っての抱き方、1ヶ月までの抱っこの仕方、親に向けて、障害があるということをどのように伝えて行ったらよいか、など、様々なことをお話しさせて頂いた。 その後、持参の赤ちゃん人形を抱いたり、おんぶの仕方などを中心に、お伝えした。実際に、おんぶの仕方などを学んで頂くには、2時間は少し短いようにも感じたが、スタッフも若い親である方が多く、子どもの迎えの時間などがあり、時間を延長せずに終了した。 この団体の感想は、別紙として添付してあるので、そちらをご覧頂きたい。
場所 参加人数	京都市 ・ 16名	
講師	迫きよみ・竹本久美子・朱まり子	



AKAGOを使った子育て支援講座 第7回 2017年10月12日13:30～15:30

団体名	綾部市地域子育て支援センタークレヨンひろば	<p>保育園勤務の保育士の他、ファミリーサポートセンターのコーディネーターや、病院に勤務する助産師も参加。</p> <p>導入として、『AKAGO』作成の経緯やコラムなどを解説し、その後一読した中で感じたことや疑問点などを順に話してもらった。</p> <p>7か月や1か月の孫がいる保育士からは、離乳食の進め方や日光浴など、時代による子育ての変化や母親世代との関わりについて「ひいてしまう」「言いづらい」といった声もでて、子育てに関わる方法や情報について、時代の変化による戸惑いなどが出ている。</p> <p>だっこやおんぶ、とくに腰ベルトタイプの抱っこひもに入っている子どもの様子が気になる、おんぶをしてもうまく抱きついて体重をのせてくれない子が多い等の意見もあり、くびす割り前の赤ちゃんの抱き方や、一本帯や兵児帯を使った高井位置でのおんぶの実技練習をおこなった。</p> <p>その後、再び質疑応答の時間をとり、ワークについての補足説明や絵本や言葉の獲得について(共同注意)、ハイハイすることの大事さ(協応動作)等の解説をおこなった。</p>
場所 参加人数	綾部市 せんだん苑こども園 ・13名	
講師	朱まり子 谷口英子	




AKAGOを使った子育て支援講座 第8回 2017年10月16日10:00～12:00

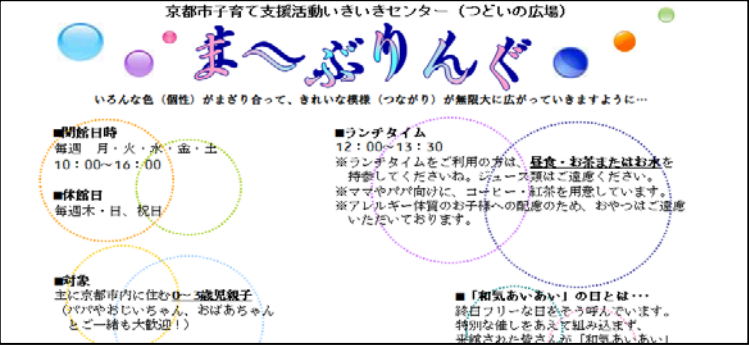
団体名	NPO法人山科醍醐こどものひろば	<p>「げんきスポット0-3(ぜろさん)」は、最寄り駅からのアクセスがよく、お友だちのお家に来たような温かい雰囲気を楽しんでいる子育て支援拠点。刺繍の講習などは保育付講座にし、ママだけの時間も確保するなど、マンションの1室であることもあり、少し手狭ながら、行き届いた配慮が感じられる施設に、今回は7人の支援者が集まりました。</p> <p>参加者は現役のママスタッフから、孫を持つ世代まで居られ、「世代間で伝えていく文化」を感じましたが、地域的に、若夫婦2人で子育てをしている家族が多く、支援者の立場が重要だということで、この学びの依頼が来ました。</p> <p>支援者の中には、離乳食などの質問の際に、何を食べさせるのか、どのように食べさせるのか、など、あまりにも多くの育児相談があるので、難しい仕事であるとの意見があり、子育てをどのように見るのか、をお伝えすることにしました。</p> <p>離乳食では、アレルギーのことも配慮しながら、親の食事を利用して上手に作る方法など、具体的なことも含めて、多様な対応の仕方があることを伝えました。</p> <p>今回の講座をしながら感じたのは、経験年数が違う人に一度にお話しをする場合は、やはり、分からない人に伝えるということで、経験の長い参加者からも、ご意見を頂けるようになるのだと、改めて感じました。</p>
場所 参加人数	京都市 げんきスポット0-3 7名	
講師	迫きよみ・三好英・朱まり子	




AKAGOを使った子育て支援講座 第9回 2017年10月17日13:00～15:00

団体名	医療法人社団 清水医院(内科・小児科)	<p>京都市南区にある、清水医院は、診療科目は 内科・小児科であり、小さなお子さんの患者さんが多いとのことで、当方が御送りした「AKAGOテキスト版」を見て、この冊子を患者さんたちに渡したいとのことで、ご依頼頂き、伺いました。以前も、良い冊子があると無料配布されていたそうで、今回は午前の診察が終わったあとすぐに、講座を開始しました。</p> <p>お集まりいただいたのは、院長先生、看護師さん、薬剤師さん、受付の方もおられ、みなさんで、1つの医院をより良くしていこうとの姿勢が感じられました。</p> <p>当方からは、「AKAGOテキスト版」に沿ったお話をさせて頂くと共に、今、病院がどのような患者さんの何にお困りになっているのか、などのお話も聞かせて頂きました。その中で、母親が、自分の母親に聞く、義母に聞くということをしなくなっている現状が問題なのではないか・・・とのご指摘を頂きました。</p> <p>看護師さんは、「自分は小児科の看護師なので知識は豊富にあると思うが、嫁の子育てには立ち入れないでいる、何故立ち入れないかという、教えて貰おうという気持ちが無いこと、聞きたいという気持ちを持っていない。」と話されました。専門職の方でも、このようなことがあるのだから、普通の家庭では「子育てに祖母は立ち入らない」になっているが、皆で、何とかしたいと話合いました。</p>
場所 参加人数	京都市 ・ 5名	
講師	迫きよみ・朱まり子	
		


AKAGOを使った子育て支援講座 第10回 2017年11月9日13:00～15:00

団体名	つどいのひろば まーぶりんぐ	<p>「まーぶりんぐ」は、西京区「洛西ニュータウン」内にあるつどいの広場です。親も子も「安心して楽しめる場所」「成長を感じ合える場所」「違いの良さを認め合える場所」をスローガンに、「第二の我が家」目指して活動されています。今回は、つどいではなく、別の会場にて、講座を開催させて頂きました。</p> <p>同じNPOからの参加者、読み聞かせ講座の講師、バランスボールの講師などの他、近くの「つどいのひろば・ほっこりスペース」にも開催の声を掛けて頂いたとのことで、そこからも支援者が参加頂き、地域の支援者の連携も感じました。</p> <p>参加のお一人ずつに、「AKAGOテキスト版」の読後感、今日聞いてみたい事をお尋ねしたところ、多岐にわたりましたので、一つ一つ答えるのではなく、まず、竹本が赤ちゃんをだっこするというので、いくつかの質問をまとめて回答させて頂き、残るものを、ひとつずつ、こたえていく形にしました。</p> <p>終了後、「何げなくても、話しかける事が大事」 「ママが楽になるようなことを伝えたい」 「知っているだけではダメ」「バランスよく」等を感じたと報告頂き、講座が役立つことを感じ、講師として良い時間が過ごせたと感じました。</p>
場所 参加人数	京都市 ・ 12名	
講師	竹本久美子・朱まり子	
		


AKAGOを使った子育て支援講座 第11回 2017年11月14日14:00～16:00

団体名	泉山幼稚園 子育て支援拠点	<p>泉山幼稚園は恵まれた自然環境の中、子どもたちの健やかな成長を願い、楽しい子育ての応援をする活動を地域に開いてきた幼稚園で、子どもには同年齢のお友達と触れ合って遊べる場、お父さんやお母さんには子育て仲間と出会い、子育ての喜びを味わえる場が必要とのもとに、子育て支援棟では恵まれた施設内で、豊かな支援が展開されていました。</p> <p>今回、副園長先生はじめ、子育て支援スタッフの皆さんからの希望で、担当のお子さんたちが帰られて直ぐから講座を開催させて頂きました。</p> <p>参加のスタッフさんの経験年数は多様で、お母さん代表のようなスタッフさんもおられれば、超ベテランの先生もおられ、ここでも世代間で色んなことが伝わり、共有されているのを感じました。今回は、副代表の馬見塚珠生も前半だけ入り、お母さんの心についての話を致しました。</p> <p>講座は、それぞれの質問に答える形で前半は終了しましたが、本当に日々の実践のなかで悩んでおられることについて、ちょっとした考え方・コツ・もの見方をお伝えし、熱心に聞いて頂きました。</p> <p>後半はおんぶの仕方を学びたいとの要望に沿い、だっこ・おんぶの仕方、主に、一本ひもの使い方を中心に、しっかり、お母さんに伝えられるように、実践講座とさせて頂きました。</p>
場所 参加人数	京都市 ・ 6名	
講師	迫きよみ・朱まり子	
		

AKAGOを使った子育て支援講座 12回 2017年1月23日10:00～12:00


団体名	ハグモミプロジェクト(代表:手島渚)	<p>ハグモミ®プロジェクトは、非営利でも営利でもない、世界にほんの少しの幸せの種を蒔くために活動している任意団体で、「みんなが幸せに生きるために必要なことは、いま目の前にいる大切な人を、大切にすること。手をつなぎ、ハグして、愛していることを伝えること…」ということを大事に活動されている団体です。</p> <p>ちょっとシャイなみんなのために、「ハグモミ®」を作られたとのことですが、日々、だれもが持っている、すばらしい手のちからを実感されているというあたりでは、支援者としての支える力は、他の団体よりもずっと優れていると感じました。</p> <p>今回は、ハグモミプロジェクトのなかから、実際に、地域で子育ての支援をされている方が勉強したいとおもいで、ご参加になりました。</p> <p>そこで、一般の支援者団体様とは違う、レベルアップのための内容ということで、座学での全般的な話のあとで、玩具との関わり、おんぶの仕方などを重点的にお話をすることになりました。</p> <p>写真左は、「吹く」ことの大事さをお話し、実際に参加者が色んな笛を吹いておられる様子、写真右は、一本ひもを使ったおんぶの仕方を見ておられるところです。</p>
場所 参加人数	京都市上京区今新在家町 6名	
講師	迫きよみ 朱まり子	
		

AKAGOを使った子育て支援講座 第13回 2018年1月24日13:00～15:00

団体名	ゆるりば(元Npo法人京都八幡こどものひろば)	<p>「ゆるりば」は、元Npo法人京都八幡こどものひろばが解散したのち、地域の子どものためにだいたいの月に2回程度開催されている地域の居場所です。団地内にあり、中々、家から出にくい方だけでなく、地域全体のために、続けておられているようです。</p> <p>今回の報告は、訪問先のブログを紹介させていただきます。</p> <p>今日は子育ての文化研究所から迫さんと朱さんに来ていただいて、冊子AKAGOをテキストにした研修をしました。</p> <p>ふつんと途切れて受け継がれてこなかった80代のおばあちゃん世代の子育てに実は日本人にじっくりくるものがある、それを今にマッチする形で伝えていきたいとの話にうんうんとうなずくゆるりばメンバー。</p> <p>ゆるりばメンバーの子どもたちはすでに成人しており、子育て支援をしているとはいえ、今子育て中のお母さんに伝え方が難しいということを改めて実感しました。お母さんに寄り添うだけでもない、伝えるだけでもない、子どもの気持ちを代弁しつつ、子どもの声が聞こえるようになるようガイドする支援者に。子育てって、すこし俯瞰的にみると楽になるよと自分の言葉で伝えられるようにと思います。</p>
場所 参加人数	八幡市 ・ 5名	
講師	迫きよみ 朱まり子	
		

AKAGOを使った子育て支援講座 第14回 2018年2月5日10:00～12:00 13:30～15:30

団体名	NPO法人ぴいちゃんねっと	<p>認定特定非営利活動法人アレルギーネットワーク京都 ぴいちゃんねっとさんは、アレルギーを持つ子どもと親のために活動されている団体ですが、その関連で、京都市から「つどいのひろば ぴいちゃん」を委託されていることもあり、子育て支援者の学びにと呼んで頂くことになりました。</p> <p>しかし、前日になり、参加する予定のスタッフさんが軒並みインフルエンザに罹られたとの連絡があり、そのような中で開催することもできないので、延期することになりました。</p> <p>その後、講座開催の日程のすり合わせをしましたが、団体様と講師を派遣できる日程が合わず、翌年度に延期ということで、一旦お送りした冊子も再度引き取りました。</p> <p>講座としては、実施出来ませんでした。同様のコーディネートはしており(というより、通常以上に)、コーディネート担当費は計上させて頂きました。</p>
場所 参加人数	京都市 ・ (7名予定)	
講師	(迫きよみ・朱まり子)	



"ぴいちゃん"

(京都市子育て支援活動いきいきセンターつどいの広場)

寒さも一段と厳しくなりましたが、暖かい春はもうすぐ！
体調管理に気を付けて過ごしましょう！

開所日 月、水～土
時 間 10～16時
※開所のお休みもあるので、ホームページでご確認ください！

アレルギー相談の日も自由開放です。
ご相談のない方も自由に来所していただけます

認定特定非営利活動法人
アレルギーネットワーク京都 ぴいちゃんねっと
〒604-8278
京都市中京区西陣通5-42 サンフィールドビル3階

TEL/FAX: 075-252-0088
ホームページ <http://allergo-kansai/>
FACEBOOK <https://www.facebook.com/allergo/koto>

AKAGOを使った子育て支援講座 第15回 2018年2月13日10:00～12:00 13:30～15:30(2回に分けて実施)

団体名	NPO法人子育てを楽しむ会	<p>核家族率が80%という宇治市にある団体です。宇治市は、子育て支援世帯のうち、かなりの方が、新しく作られた大型のマンションに住み、地域とのつながりが無い、転入転出も多い地域だそうです。その中であって、この団体は、もうすぐ20年を迎えられる子育て支援の老舗団体です。</p> <p>ただ、つどいのひろば、団体の独自事業などがあり、揃って研修を受けにくい状況にあるとのことでしたので、少人数でしっかり勉強しましょうということで、午前・午後の2回に分けて開催させて頂きました。</p> <p>今回の講師の三好英は、アレルギーもですが、「食」についてが得意分野ですので、離乳食とどう向き合うかを、かなり深く学んで頂くことが出来ました。</p> <p>朱からは、以前、言葉や玩具についての講座を受けて頂いたことがあるので、その分野や省き、子どもの発達など、一つ一つの成長をどうみるのか、丁寧な支援の在り方などを、学んでいただくことになりました。</p> <p>午前には仕事をされていた方は午後の講座にご参加下さり、その場・その場の質問に答えるような形で、講座を開催させて頂きました。</p> <p>午前・午後の質問で、「気になる利用者」が、どうも同一の方らしいことがわかり、皆で、一人の利用者を丁寧にサポートされている様子うかがえました。一人ひとりのママの気持ちに寄り添い、このような丁寧な関わりをされている団体なのだと、改めて感じることになりました。</p>
場所 参加人数	宇治市 ・ 9名	
講師	三好英・朱まり子・迫きよみ	




AKAGOを使った子育て支援講座 第16回 2018年2月24日10:00～12:00

団体名	かもっこ(下鴨小学校内子育て支援スペース)	<p>かもっこは、下鴨小学校2階 ふれあいサロンを使って、自由遊びを中心とした取組のほか、紙芝居や工作などをされている地域の方により、支援スペースです。</p> <p>今回は、AKAGOを見て、ぜひ学びたいとお申し出があり、伺いましたが、行ってみると、そこにおられた方は、元保育園の園長さんや、定年まで勤められた保育園の先生など、プロ中のプロの方を中心にした、地元学区に住む方たち。</p> <p>お話のなかから、この下鴨学区というのは、地元愛の深い地域であることがわかりましたが、そのような地域であるから、学校内の1教室でやっている子育て支援の場を、地域の方がみなさんご存じで、あかちゃん連れの方に、「あそこに行くといよいよ」という声をかけられるので、小さなところだけど、該当される方は、殆んどのように参加されているとのことでした。</p> <p>講座は、AKAGOテキスト版に沿って、まんべんなくお伝えしました。</p> <p>そのあと、おんぶの仕方を学んで頂きました。</p> <p>この団体さんの場合、みんなでやりくりをして、ボランティアで活動されているので、夫々の知識などは豊富なのに、全員に共有されていないことが、今回の講座を通して、改めて感じるようになったそうです。今後は、団体内での研修が短時間でも、少しずつ積み重ねることが出来ると良いですね・・・とお伝えしました。</p> <p>地域には、色々な方がボランティアで開催されている子育て支援の居場所がありますが、こちらのように、プロだった方が退職され中心におられると、間違いのない支援ができるのだと、レベルの高さ、気配りの濃さ、やさしさを感じるひとときとなりました。</p>
場所 参加人数	京都市下鴨小学校2階ふれあいサロン ・ 7名	
講師	迫きよみ ・ 朱まり子	



AKAGOを使った子育て支援講座 第17回 2018年3月22日13:00～16:00

団体名	きょうどう助産院十色（5月開院予定 代表:岩見香織）	<p>自分達助産師の力を結集して、本当の支援になるようなことをやりたい・・・そんな思いをお持ちの助産師さんたち7名が集まって、開業しようとされている団体をお伺いしました。</p> <p>もともと、お仕事で病院に勤務されていたり、開業されていたり、出張専門の方など、色々な形態でお仕事をされている助産師さんが集まって、小さな施設を5月から運営されることになっていたところ、たまたま、きょうと子育てピアサポートセンターで、「AKAGO③④」を貰われたことが、今回のキッカケで、お呼び頂きました。</p> <p>AKAGOをみたとき、「あ、これだ！ これを使って、ママたちに伝えていきたい」というようなことを感じられたようで、本当は、助産師さんたちのほうが知識も豊富だし、経験もあるのに・・・ですが、子育て支援の立場をお伝えさせて頂きました。ゆっくりと話をしたことで、3時間も講座をすることになりましたが、その後、感想として、このような言葉を頂きました。</p> <p>「お二人のお話をお聞きし、視野が広がる思いでした。やはり私は医療者としてだけではなく、支援者として赤ちゃんや家族と共に在りたいな、と改めて感じました。素敵なお話とご縁に感謝です。」</p>
場所 参加人数	京都市京都市中京区宗林町83-2 ・ 5名	
講師	迫きよみ 朱まり子	
		

AKAGOを使った子育て支援講座 第18回 2018年3月28日 13:30～16:00

団体名	ひいらぎこども園	<p>宇治市神明石塚にある「ひいらぎこども園」と、宇治市槇島町大川原にある「槇島ひいらぎ保育園」の方20名が御集り頂き、広い部屋でしっかりとした講座を開催させて頂きました。</p> <p>ここ、ひいらぎこども園は、「心に華を咲かせよう」を合言葉に、子ども、保育者、家庭、地域、職員、そして全ての人々の幸せを願って事業を推進し、子どものよりよい成長と地域福祉の推進を目指しておられるとのことで、若い職員さんたちに学んで欲しいとの理事長様からのお声掛けで、実現しました。</p> <p>特に、今回は、あかちゃんのからだを知り、上手に赤ちゃんや付き合える技術獲得のために開催させて頂きました。そこで、あかちゃんを抱く抱き方をマスターすることから始め、あかちゃんのからだの動き、獲得していく様子を自分達のからだを使って、実際にやってみました。</p> <p>その後、災害などの際にも役立つということで、園にあるだっこひもやおんぶの紐、こちらが用意してきたものを使って、おんぶの練習をして頂きました。</p> <p>最後に、まとめの意味で、身体の発達、脳の発達などの知識をお伝えしましたが、非常に熱心に聞いて頂くことが出来、2時間半があつという間に過ぎました。</p> <p>以上、実施は、予定より2箇所（コーディネート数では3カ所）上回りましたが、ご希望のある場所に伺うことが出来、その場・その場で伝えるべきことが違うことに戸惑いながらも、大勢の方に伝えることが出来、この事業があつて良かったとの声をたくさん頂くことが出来ました。</p>
場所 参加人数	宇治市神明石塚 ・ 20名	
講師	迫きよみ・朱まり子	
